

新型コロナ ウイルス感染症対策向け インストア サイネージ プリンティング ガイド

HP Latexサイネージアプリケーションで、コミュニティーに貢献します



アプリケーション

1. フロア グラフィックスの印刷方法	. 3
2. ロールアップ バナーの印刷方法	13
3. セパレーション パネル(リジット素材)の印刷方法	27
4. セパレーション パネル(塩ビ粘着素材)の印刷方法	



概要









フロアグラフィックスの使用場所は**屋内・屋外**に関係なく、人の目を引きつけるのに うってつけの方法です。一般的に、フロアグラフィックスは印刷された**塩ビ粘着**と上面 に**オーバーラミネートが施された滑り止めフィルム**から作られています。これらの大き な違いは、粘着剤の種類と貼り付けられるオーバーラミネートの耐久性です。これらは アプリケーションに求められる寿命と使用場所の外的条件によって変わります。

ラミネート加工に入る前に、インクの乾燥待ちをする時間は必要ありません。エコソルベントインクジェットと異なり、HP Latex テクノロジーの出力物は完全に乾燥状態で排出されるため、既にラミネート加工の準備ができているのです。つまり、印刷後にすぐにラミネート加工の工程に移ることが可能です。これによって、フロアグラフィックス制作の業務効率化に関する問題が一つ解消されることになります。

h

用意するもの





メディア



フィルム ラミネート



ソフトウェアツール (RIP、イメージエディター など)



ヒートガン



プリンター



フィルム ラミネーター



カッティングデバイス



せっけん水



スキージー

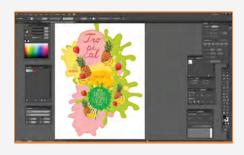


ブラシ

ジョブの準備方法







1.グラフィック デザイン

標準デザイン ツール (フォトショップ、 イラストレーターなど) を使用して、 グラフィックを作成します。

注記:カット輪郭の画像に対して、正しい裁ち落とし値を常に指定してください。カットの位置ずれが発生した場合は補正します。

3.1 粘着剤の適合性

屋内・屋外のフロアでの用途向けに設計されている塩ビ粘着があります。屋外フロア向けの塩ビ粘着は、より粘着性にすぐれています。

メディア (およびその粘着剤) が、サイン 設置場所のフロアに適しているかを確認し てください。



2.カットマークの追加

画像、デザイン、形状の種類に応じて、オートカッターで、カットされるサイン上にカット線とカットマークを追加します。



3.メディアプロファイルに関する注意点

フロア グラフィックスは、通常、メディア ベース (サインが印刷されている塩ビ粘着が 一般的) およびラミネート (サインの保護と 滑り止めのため) からなります。

プロダクトの選択肢はたくさんあります。 次の注意点をお読みください。

3.2 短期用途のメディア

ラミネート加工を必要としない 短期用途 向け (1~2週間) のメディアがあります。 これらのメディアは表面に凹凸があり、あ る程度の滑り止め効果があります。

事前に耐久性要件を確認してください。

3.3 防滑性要件

職場、学校、保育所、公共の場など、グラフィックスを使用するエリアに、特別の安全規制が適用される場合があります。

一般的に、欧州および米国における防滑性に関する認証は、DIN 51130規格、 DIN51097規格、またはASTM C 1028規格によって規定されています。

アプリケーションで求められる滑り抵抗値 (R値)を確認した上で、使用するメディアを選択してください。

注記:カットに関する詳細については、以下のマニュアルをご覧ください。 ※英語サイトですが。HPIDでサインインするとサイト内のGoogle翻訳ボタンをご利用いただけます。

HP Latex プリント&カットソリューションで正しい切断精度を確保するための推奨事項

https://hplatexknowledgecenter.com/applications/good-practices-ensure-correct-cutting-accuracy-hp-latex-print-and-cut-solution

HP Latex プリント & カット ソリューションに関する詳細

https://hplatexknowledgecenter.com/applications/cookbook-hp-latex-print-and-cut-solution

© Copyright 2020 HP Development Company, L.P. The information contained herein is subject to change without notice.

ジョブの準備方法



4. プラットフォーム環境でテスト済みのメディア



以下のリストは、複数のLatex プリンターを使って、既にテストが実施されているフロア グラフィック ソリューションに関する詳細を示しています。

印刷可能な製品

製品名	メディア	厚さ(ミクロン)	滑り抵抗値の認証規格 (DIN51130)	用途
Neschen UV dot print'n'walk	PVC	200	R9 (ラミネート加工が不要)	屋内
3M 40C-10R / 40C-20R / 40C-114R Controltac	PVC	75	なし	屋内
3M 48C-20R Envision	PVCフリー	80	なし	屋内
3M 3662-10	PVC	50	なし	屋外
Mactac streetRap	PVC	100	なし	屋内/屋外

保護 (ラミネート) フィルム

⊌品名	素材	厚さ(ミクロン)	滑り抵抗値の 認証規格 (DIN51130)	耐久性/その他の認証
Neschen Filmolux easy clear sand	PVCモノマー	200	R9	中期 (6ヶ月)
Neschen Filmolux Nippon Plus	PVCモノマー	200	R9	中期 (6ヶ月)
Neschen Filmolux FGS	PVCポリマー	185	R9	長期(1年)EN 14904 規格(スポーツエリアの場合)
Neschen Filmolux Scratch	PET	130	R10	短期 (1ヶ月)
Neschen FGS R11	PVC	140	R11	中期(6ヶ月)DIN51907 Class A
3M 3645	PVC	200	R9	屋内
3M 3647	PVC	500		屋内および屋外 SRV 49 (EN1341) 、SRV 40 (EN1342)
Mactac Permacolor Floorgrip	PVC	150	R11	屋内/屋外
Mactac Permacolor StreetLam	PVC	385	R12	屋外

詳細については、HPメディアロケーター https://www.printos.com/ml/#/homeMediaLocator をご覧ください。

プリンター設定の選択





アプリケーション要件に基づいて、印刷と保護のメディアプロファイルを正しく選択できたら、印刷の準備完了です。 最初に、正しい印刷設定値を選択してください。これらの設定値は、メディアプロファイル プリセット内にあります。



使用中のメディアをベースに、 異なるメディア プリセットを 使用する





塩ビ粘着のメディアプロファイルプリセット

多くの塩ビ粘着について、機種が異なるLatexプリンターを使用して、 HP の社内テストが実施されています。メディアプロファイル プリセットは、 個々のメディアおよびプリンター向けに作成されています。

HP メディア ロケーターからダウンロードできます。

https://www.printos.com/ml/#/homeMediaLocator

プリンターおよびメディアの種類をフィルタリングすることによって、正しいプロファイルを探します。

印刷の必要があるメディアに有効なメディアプリセットがある場合は、ダウンロードしてインストールを行い、ご使用のプリンターおよびRIPで使用することをお勧めします。使用しているメディアに有効なメディアプロファイルプリセットがない場合は、「**汎用塩ビ粘着**」を使用するという選択肢もあります。

印刷工程





塩ビ粘着に対応するメディアプロファイルプリセットを選択したのち、アートワークを取り込みます。プリンターキュー(L1500、L3X00、Rシリーズ)に出力を送信するか、直接プリンター(L1X0、L2X0、L3X0、L5x0)に送信します。

汎用塩ビ粘着 として、プリンターにメディアを読み込むか、ご使用のプリンターに対応するプロセスを事前に追加することで、プリセットを使用してください。

プリンターの読み込みプロセスに 従ってください。

必要に応じて、巻き取りリールを使用します。大容量のジョブの場合に、 巻き取りリールの使用をお勧めします。

取り込んだジョブを選択し、プリンターキューにドラッグします(L1500、L3X00、Rシリーズ)。



☑ 注記: プリント モードの選択について: フロントリットモード (プリンターによっては、インク濃度は110または120になる)を選択し、フロア グラフィック アプリケーションを印刷します。





印刷後のアクション





1.扱い方

注意してロールをお持ちください。事故に よる負傷を防止するだけでなく、表面に指 紋が残らないようにするためにも、手袋の 着用をお勧めします。



4.フロアの準備

ほうきで、ちりやほこりを取り除いてから、 万能クリーナーを使って、フロアを清掃しま す。業務用クリーナーを使って、残った汚れ を除土します。サインを貼り付ける場所のま わりも清掃します。 注記:ちりやワックスが 残っていると、粘着性能に影響が生じます。





2.サンプルのラミネート加工

ほとんどのフロアグラフィックスについて、フィルムを使用してラミネート加工を施す必要があります。このフィルムは、フロアグラフィックスを保護し、滑り止めのために必要です。 製造元が推奨するラミネート加工設定を使用してください。

注記:注記:印刷後、すぐにラミネート加工を行うことができます。乾燥待ちをする必要はありません。

 注記: ラミネート加工したロールは、 ラミネート面を外側に向けて保管することをお勧めします。



3.サンプルのカット

テーブルまたはロール カッターに サインを置いて、カットします。

注記:カットに関する詳細については、 以下のマニュアルをご覧ください。 ※英語サイトですが。HPIDでサインインするとサイト内のGoogle翻訳ボタンをご利用いただけます。

『Good practices to ensure correct cutting accuracy with HP Latex Print and Cut Solution』

https://hplatexknowledgecenter.com/application s/good-practices-ensure-correct-cuttingaccuracy-hp-latex-print-and-cut-solution

5.アプリケーションの注意点

フロア グラフィックスが濡れていると、滑りやすくなる場合があります。事故防止のため、フロア グラフィックスが極力濡れないように対策をしてください。 例えば、乾いている通路から十分離れた位置にフロア グラフィックスを配置します。

ドアマットを使用して、通路の湿気を取り除き、水やこぼれた液体などをすみやかに除土します。

ジョブの準備方法



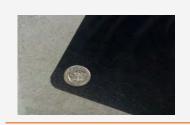




6. 表面がつるつるしたフロアへの 貼り付け

サインの片側エッジにある、25cmのライナーを剥がします。柔らかいスキージー (3M PA-1 Blue または Comply 製のスキージーなど)を使用して、ライナーを剥がしながら、サインを貼り付けます。

注記:サインが持ち上がらないように するため、人の通行量が少ない場所に貼り 付けてください。



注記:.サインが持ち上がらないようにするため、奥行きが非常に狭い場所には置かないでください。カッターとコインで丸い角を作ります(以前に作成していない場合)。

注記:屋外でサインを貼り付ける場合は、メディア製造元が推奨する最低使用温度を下回る環境での貼り付け作業は避けるよう、特に注意してください。



7.表面がざらざらしたフロアへの 貼り付け

表面がざらざらしているフロアによく接着できるようにするには、ビニールが完全にフロアに適合していなければなりません。ビニールを押さえないで、手で貼り付けます。次に、ヒートガンを使って、ビニールを柔らかくします。フロアの形状に合わせやすいよう、ビニールがまだ柔らかいうちに、フォームローラーを使って、サインを押します。



8. クリーニング

メディア製造元による推奨事項に従ってください。サンプルを化学^落品を使ってクリーニングする場合は、ラミネート加工が必ず必要になります。

9.複数のパネルを備えたサイン

タイリングが必要になる大きなサインを 貼り付ける場合、他のサイン部分と重な り合わないようにしてください。

サインが持ち上がらないようにするため、 合掌貼り(突き合わせ)手法での貼り付けをお勧めします。





詳細については、_www.hplatexknowledgecenter.com をご覧ください。

アプリケーション センターで、テンプレートを見つけて使用できます。

- ・ www.hpapplicationscenter.com で、ロールアップ アプリケーションを開きます。
- ・ 左側のナビゲーション バーから、[オブジェクト]タブを選択します。
- ソーシャル ディスタンシングと衛生をテーマにした編集可能なテンプレート、独自のフロアグラフィック作成のためのデザイン イラストについては、[COVID-19]フォルダーを選択して、目的のサブフォルダーを選びます。

パートナーシップ:

RIP およびプリント制作:





什上げ:





SAi



概要



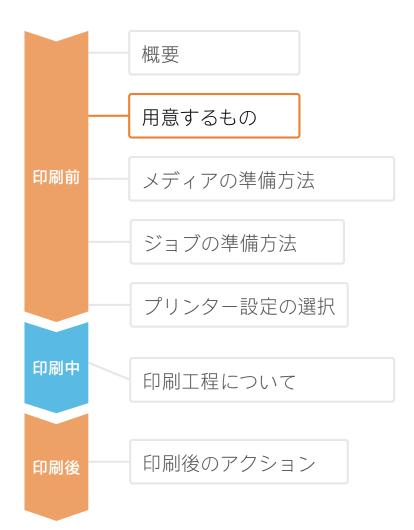




ロールアップ バナーは設置・移動・移送・保管が簡単なため、インパクトのあるサインを制作するにはうってつけの方法です。設置時には相当な大きさになりますが、ロールアップ バナーは変化への順応に強いので、最も戦略的な場所に、いつでも配置することができます。

HP Latex テクノロジーによって、あらゆる種類の大判サイズの素材を使って、ロールアップ バナーを制作することが可能になります。これには、ポリプロピレンファブリックおよびポリエステルファブリックなど、PVCバナーやPVCフリーバナーも含まれます。

用意するもの





メディア PVCバナー PP / PET フィルム テキスタイル



HP Latex プリンター



ソフトウェアツール (RIP、画像エディターなど)



ロールアップ装置



オート カッター または 手動式カッティング ツール



液体ラミネート または フィルム ラミネート (オプション)

メディアの準備方法





1.メディアタイプの選択

- ☑ 最も一般的なタイプには、以下のものがあります。
 - PVCバナー
 - PETフィルム
 - PPフィルム
 - テキスタイル



注意点:耐久性

長期間の貼り付けや、プリントのクリーニングまたは消 を定期的に行う 場合・

- 化学^滋品(アルコール、エタノール、および家庭用クリーナーなど)に対する耐^滋品性が高い場合に備え、プリントにラミネート加工を施すことをお勧めします。
- 保護されていないプリントに対しては、耐久性の面で、PVCバナーが最もすぐれています。
- PET (ポリエチレンテレフタラート)素材およびPP (ポリプロピレン)素材に対しては、水性塗料と比べると、溶剤型塗料の方が耐久性の面ですぐれています。

注意点: ロールサイズ

ロールアップ装置に最も適しているメディア幅を選択します。 必要なサインの幅よりもわずかにマージンを持たせて使用することをお勧めします。

最も一般的なサインの幅は、85cmと150cmです。

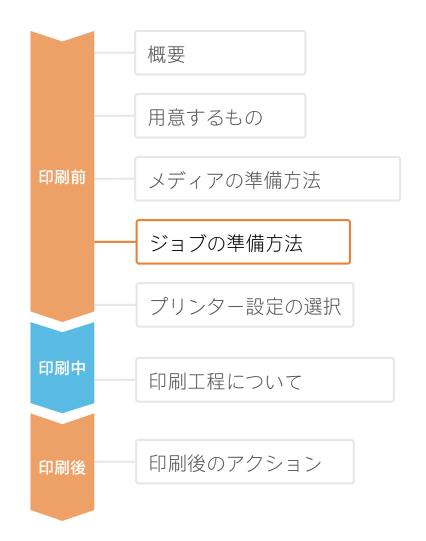
最も一般的なサインの丈は、200cmです。

注意点: 不透明度

背面の光源が光飽和とサインの読みやすさに影響が出ないようにするため、 遮光性素材がお勧めです。

例: グレーバック フィルムまたはブロックアウト バナー

ジョブの準備方法







1.画像の作成

標準デザイン ツール(フォトショップ、イラストレーターなど)を使用して、グラフィックを作成します。

ジョブサイズがロールアップ装置の特性に必ず適合するようにしてください。

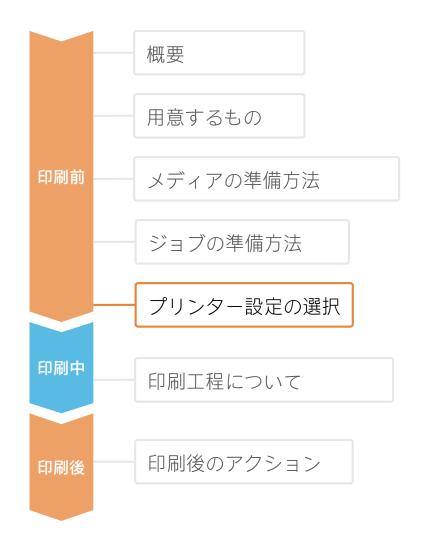


2.カットマークの追加(オプション)

オートカッターを使用する場合は、RIPで画像に合わせたカットジョブを作成します。

特殊な形状または穿孔 (グロメットの穴など) が サポート機器で必要になるかどうかを確認します。

プリンター設定の選択





ジョブを選択し、メディアの用意ができたら、印刷の準備完了です。

最初に、正しい印刷設定値を選択する必要があります。これらの設定値はメディアプロファイルプリセット内にあり ます。



使用するメディアをベースに メディア プロファイルを プリセットする





メディアプロファイルのプリセット

多くのメディアに対して、機種が異なるLatexプリンターを使用し、HP の社内テストが実施されています。プリセットは個々のメディアおよ びプリンター向けに作成されている場合があります。HP メディアロ ケーターからダウンロードできます。

https://www.printos.com/ml/#/homeMediaLocator

プリンターおよびメディアの種類をフィルタリングすることによって、 正しいプロファイルを探します。

印刷の必要があるメディアに、 有効なメディアプロファイル プリセッ トがある場合は、ダウンロードしてインストールを行い、ご使用のプ リンターおよびRIPで使用することをお勧めします。使用しているメ ディアに、 存効なメディアプロファイル プリセットがない場合は、メ ディアの種類に対応する「汎用」プリセット (PVC バナー、PET フィル ム、テキスタイルなど)を使用するという選択肢もあります。

印刷工程





- 対応するプリセットを選択後、アートワークを取り込みます。 プリンターキュー(L1500、L3X00、Rシリーズ)に出力を送信するか、直接プリンター(L1X0、L2X0、L3X0、L5x0)に送信します。
- 2. 以前に選択したプリセットを使用して、プリンターにメディアを読み込みます。
- 3. プリンターの読み込みプロセスに従います。
- 4. 必要に応じて、巻き取りリール (L1X0, L2X0, L3X0, L5x0)を使用します。 大容量のジョブの場合に巻き取り リールの使用をお勧めします。
- 5. 印刷中にメディアをカットするために、インライン スプリッターの取り付けを検討してください(L1500、L3X00)。
- 6. 取り込んだジョブを選択して、 プリンターキューにドラッグします (L1500、L3X00、Rシリーズ)。







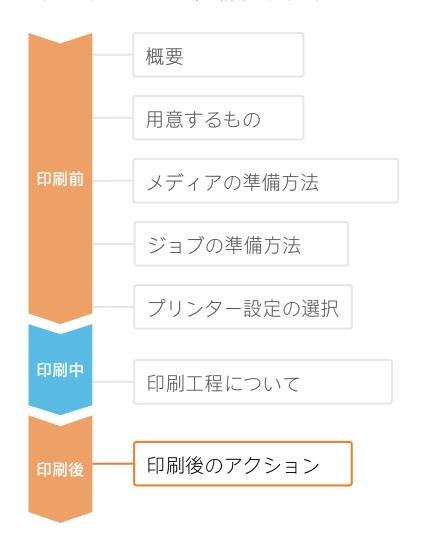








メディアの準備方法





1.プリントの保護(オプション)

化学^滋品または長期用途に対する耐久性を高めるため、 プリントにフィルムまたは液体ラミネート加工を施しま す。

使用しているメディアに最適な保護フィルムを選びます。例えば、PVCの透明フィルムを使用してPVCメディアにラミネート加工を施すか、PET製の透明フィルムを使用してPETメディアにラミネート加工を施します。

注記: 印刷直後にラミネート加工を施すことができます。乾燥待ちの必要はありません。

注記: ラミネート面を外側に向けて、積層 ロールを保管することをお勧めします。

3. ロールアップサインの取り付け

説明書に従い、印刷したサインを本体に合わせます。 一般的な手順は次の通りです。

- 1. 下部のクリップを取り外します。
- 2. ピンと貼らずに、自由にしておきます。
- 3. プリントの下端を下部のクリップに取り付けます (テープの使用が一般的)。
- 4. プリントの上端を上部のクリップに取り付けます。
- 5. レバーを取り外し、ゆっくりとプリントを本体に 差し込みます。





2.プリントのカット

手動式ツールまたはオート カッターを使用して、 プリントを希望のサイズと形状になるようにしま す。

穴をあけ、グロメットを取り付けます (サポート機器で必要になる場合)。

注記:カットに関する詳細については、以下のマニュアルをご覧ください。

※英語サイトですが。HPIDでサインインするとサイト内のGoogle翻訳ボタンをご利用いただけます。

Good practices to ensure correct cutting accuracy with HP Latex Print and Cut Solution

https://hplatexknowledgecenter.com/application s/good-practices-ensure-correct-cuttingaccuracy-hp-latex-print-and-cut-solution



https://youtu.be/3AVUE7XuMX0



詳細については、www.hplatexknowledgecenter.com をご覧ください。

HPアプリケーション センターでテンプレートを見つけて使用することができます。

- www.hpapplicationscenter.com_でロールアップ アプリを開きます。
- 左側のナビゲーションバーから、[**背景**]を選択します。
- ソーシャルディスタンシングや衛生をテーマにした編集可能なテンプレートの場合、[COVID-19]フォルダーを選択します。
- ポスターを独自に作成するためのイラストについては、左側にある[オブジェクト]タブで[COVID-19]を選択します。

パートナーシップ:





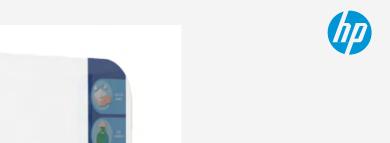






概要



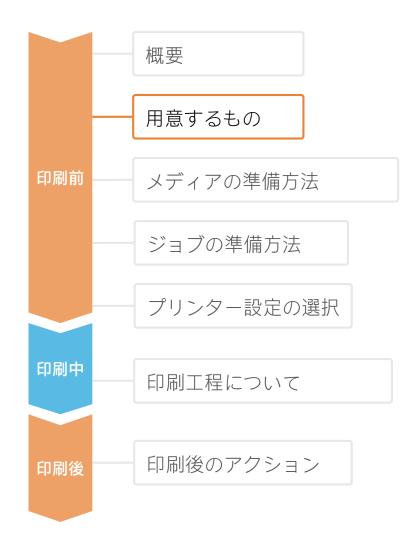


世界中では、ゆるやかに外出制限が解かれ始めるにつれ、公共の場で人との距離をどのように保っていくかが見直されています。小売店、レストラン、オフィスビルなどでは、従業員やお客様の安全を守るため、室内装飾のデザイン変更を早急に行う必要に迫られています。セパレーションパネルは、人と人との安全な距離を保つのに役立つ上、そばにいる人がくしゃみや咳、息を吐いた場合に、空気中に飛散した病原体から身を守ってくれる役目を果たしてくれます。

CUIDARTE

セパレーションパネルは、厚紙やアクリル、テキスタイルまで幅広い素材から作られています。これらのセパレーションパネルは制作に2~3ヶ月以上掛かるため、パネルが視覚的にも楽しめるものになることを経営者の多くが考え始めているところです。実用的なパネルが装飾性も機能性も兼ね備えていることを求める経営者にとって、HP Latexインクはさまざまな興味深いメリットをもたらします。

用意するもの





アクリル リジット ボード / PVC発泡ボード / 厚紙



HP Latex Rシリーズ プリンター



清潔な布



手袋



ソフトウェアツール (RIP、エディションなど)



液体ラミネート または フィルム ラミネート (オプション)



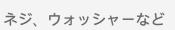
カッティング デバイス



ドリルおよびメタル ドリル ビット (オプション)



士上げ部品:





プライマー (オプション)



イソプロピル アルコール (オプション)

メディアの準備方法





1.メディアの選択

透明なスクリーンの場合、最も一般的な素材はアクリルボードおよびポリカーボネート(衝撃抵抗が必要な場合に適している)、またはポリスチレン(経済的なソリューションのため)です。

不透明なスクリーンの場合、PVC発泡ボードが最も一般的な素材ですが、経済的で地球に優しい素材は厚紙です。

軟質**塩ビ粘着**は、印刷されていないスクリーンに貼り付けることができます。 ここでは説明は省略させていただきます。

ここでは、リジット素材を使用する場合の最も重要な手順について説明します。 以下のサイトを確認して、それぞれの固有情報を調べてください。

- アクリル系: https://hplatexknowledgecenter.com/applications/how-print-acrylic-boards-pmma
- PVC発泡ボード: https://hplatexknowledgecenter.com/applications/how-print-pvc-foam-board-hp-latex-r-series-printer
- 塩ビ粘着: https://hplatexknowledgecenter.com/applications/how-print-separation-panels-self-adhesive-vinyl

注意点:耐久性

長期間の貼り付けや、**プリントのクリーニング**を定期的に行う場合、**フィルムまたは液体ラミネート**のいずれかを使って、プリントを保護することをお勧めします。

アクリル系は、他のプラスチック系と比べ、耐擦傷性とインク密着性が劣ります。十分な耐久性が必要な場合は、印刷前にプライマーを塗布しても構いません。

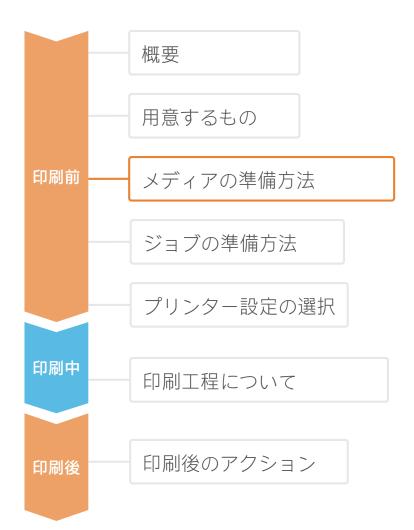
代わりに、デジタル表面処理を施したアクリルも使用できます。Plaskolite Optix DAは、デジタル印刷対応向けに改良されたアクリルシートです。

ポリカーボネートも、ほとんどの用途でアクリルメディアに対応できるオプションになります。特に、レーザー カッティングが仕上げに不要な場合などです。

注意点: カット方法

ポリカーボネートや厚紙は、レーザー カッティングには適していません。

メディアの準備方法





1.パネル平坦性の確保

メディアによっては、湿気を吸収し、平 坦でなくなるものがあります。印刷を開 始する前に、確実にボードが平坦になっ ているようにしてください。

 注記:パネルが変形している場合、 印刷ヘッドの故障を招く恐れがあります。 波形に変形したメディアに印刷を行う場合は、エッジホルダーの使用が必要になることがあります。



4.ライナーの取り外し

メディアに保護フィルムがある場合、片側から剥がします。もう一方は、仕上げの段階まで、または完成したグラフィックを貼り付けるまで、保護フィルムを付けたままにしておきます。

手袋を着用していない手で、プリント面を触らないでください。印刷後に指紋が 目立つ場合があります。



2.メディアのハンドリング

注意してサンプルをお持ちください!

事故による負傷を防止するだけでなく、 表面に指紋が残らないようにするために も、手袋の着用をお勧めします。印刷開 始前に作った擦過傷が、印刷後に目立っ てきます。



3.カット (オプション)

デバイス (テーブルソー、カッティング テーブルなど) を使用して、サンプルを必要なサイズにカットします。

☑ 注記: このプロセスは印刷された後でも実行できます。エッジチッピングが発生するインクはありませか。



5.クリーニング

保護フィルムを剥がした後は、ちりやほこりが プリント面に付着しやすくなる場合があります。 表面を静電気防止クロスで拭くことで、ちりを 除土してください。

メディアの準備方法



アクリル系: プライマーの塗布(オプション)





6. プライマーの注意点

アクリル系は他のプラスチック系と比べ、耐擦過傷性に劣るため、インクの付着が 起こります。十分な耐久性が必要な場合、 印刷の開始前にプライマーを塗布しても 構いません。

長期耐久性または耐寒品性が必要な場合、 プライマーを使用していても、保護ラミネートを貼り付けることをお勧めします。

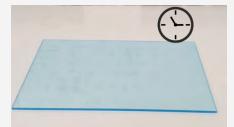


6a.プライマーの塗布 (オプション)

擦れや線を避けるため、プライマーを隅々 まで平圴して塗布します。

ヒント:見え方の違いをなくすため、 表面全体にプライマーを塗布することをお 勧めします。

パネルのサイズが小判または中判の場合 (A3 / A2 サイズ)、手動塗布をお勧めしま



6b.プライマーの乾燥

印刷の開始前に、プライマーを30分~ 60分の間、乾燥させてください。続い て4時間~5時間以内に、印刷するこ とをお勧めします。

プライマー製造元の指示に従ってくだ さい。



6c.プライマーの耐久性

印刷後は、注意してサンプルをお持ちく ださい。十分な耐久性は、一般的に印刷 後 24 時間に達成されます。

注記:インクおよびプライマーの 付着は、表面化学および化学相互作用 によって変わります。ジョブ全体にイ ンクとプライマーを塗布し始める前に インクおよびプライマーとの適合性試 験を実施することをお勧めします。

↑ 健康と安全性:プライマーを塗布する場 合、防護手袋の着用と Geoogle の使用を お勧めします (MSDS のサイトで詳細情 報を確認してください)。 プライマーを塗布する時は、清潔で換気

が十分にされている部屋が必要です。

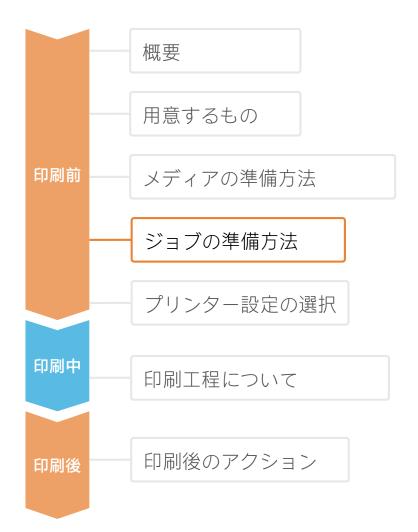
② 注記: HPが実施した社内テストから、 耐久性の向上が見られるプライマーは、 以下の诵りです。

Spandex DGPA.

 Fujifilm Sericol Uvijet Adhesion Promoter ZE 680

試験は、Evonik Plexiglass XT と Evonik Plexiglass GSで実施されました。

ジョブの準備方法







1.画像の作成

標準デザインツール (フォトショップ、イラストレーターなど) を使用して、グラフィックを作成します。

画像サイズが画面構造の特性に必ず適合するようにしてください。

カッター メーカーによっては、オンライン ツールですぐに使えるパネル テンプレートを用意している止業もあります (Zund Design Centerなど)。

画像にホワイトインクを使用する場合は、対応する 画像レイヤーを定義します(『プリント設定の選 択』を参照してください)。

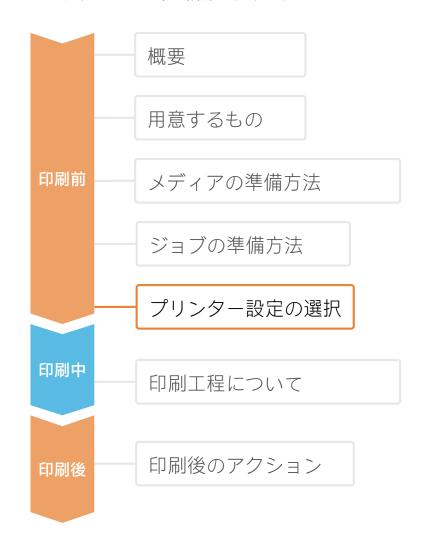


2.カットマークの追加(オプショ

オートカッターを使用する場合、デザインツールまたはRIPを使用して加工データを作成します。

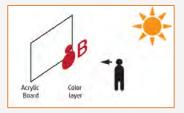
画面構造によって特殊な形状または穿孔が必要になる かどうかを確認してください。

ジョブの準備方法

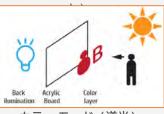




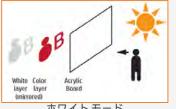
アプリケーション および メディアのニーズに よって、 ホワイトインクの 塗布方法を選択する



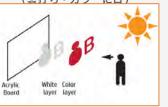
カラーモード (フロントリッ







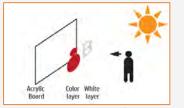
ホワイト モード (気打ち・カラーに白)



ホワイトモード (白敷き)



ホワイトモード (デュアルサイド)



ホワイト モード (スポット)

クリア素材の場合: ホワイトモードの[裏打ち・カラーに白]または[白敷き]による印刷によって、印刷された領域の カラー精度および不透明度が確保されます。

プリントが保護されていない場合、[裏打ち・カラーに白] は最もすぐれた耐久性を実現します。

画像を両面から表示させる必要がある場合、[デュアル サイド]モードを使用します。

- **ホワイト素材の場合:**カラーモードが最適なオプションです。
- カラー素材の場合:スポットモードにより、ホワイト以外のパネルに白色の画像を印刷できます。

▶ 注記:ホワイトインクを使用した作業方法の詳細については、以下のマニュアルをご覧ください。 ※英語サイトですが。HPIDでサインインするとサイト内のGoogle翻訳ボタンをご利用いただけます。

https://hplatexknowledgecenter.com/applications/how-print-white-ink-hp-latex-r-series-printer



多くのメディアは、HPの社内テストが既に実施されています。メディアプリセットが作成さ れている場合もありますので、以下のサイトからダウンロードしてください。

ダウンロード先: https://www.printos.com/ml/#/homeMediaLocator

使用しているメディアに有効なメディア プリセットがある場合、ダウンロードしてインス トールを行い、ご使用のプリンターおよびRIPで使用することをお勧めします。

使用しているメディアに対応するメディア プリセットがない場合、メディアの種類に対応す る「汎用」プリセット(例: アクリル系の場合は、汎用プラスチック ソリッド)を使用する という選択肢もあります。

印刷工程



 対応するメディア プリセットとプリント モードを選択 した後、アートワークを取り込みます。

出力をプリンターのネストに送信します。

学注記:

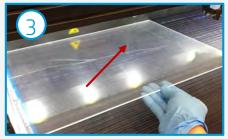
プリントモードの選択について

- カラーモード[高速 / 屋外サイネージ / 屋内サイネージ] を選択して、厚さが3 mm以上あるホワイト ボードに印刷します。
- 白色の塗布方法を選択します。
- White UF (白敷きによる印刷)
- White OF (裏打ち・カラーに白による印刷)
- White SP (スポットカラーによる印刷)
- **感熱モード**の[**高速 HS / 感熱**] を選択し、厚さ**3 mm未満**のボードに印刷します。これらのモードにより、ボードを平坦な状態に保つようにサポートする平滑化温度ランプが作動します。
- 2. 以前にダウンロードしたプリセットまたは対応する 汎用 プリセットを使用して、プリンターにメディア を読み込みます。
- 3. 読み込みプロセスに従います。
- 4. 感熱 (HS) プリント モードを使用している場合、 硬化レバーを入れます。
- 5. 取り込まれたメディアを選択し、プリンタージョブにドラッグします。

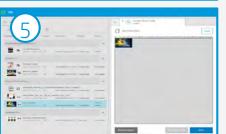






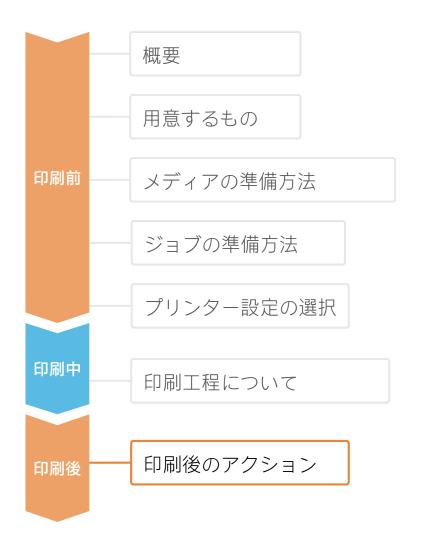








印刷後のアクション

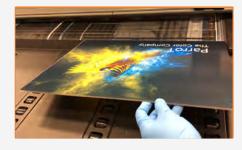


ここでは、すべての素材に対応する、最も一般的で重要な後処理手順について説明します。



素材に関する固有情報、切断、掘削、糊付け、熱間曲げ、熱成形に関する詳細については、対応するマニュアルを 確認してください。

- アクリル系: https://hplatexknowledgecenter.com/applications/how-print-acrylic-boards-pmma
- PVC発泡ボード: https://hplatexknowledgecenter.com/applications/how-print-pvc-foam-board-hp-latex-r-series-printer



1.サンプルのハンドリング

印刷後にすぐにサンプルを処理する場合は、パネルは熱くなっているため、 手袋を着用することをお勧めします。又、メディアやインクを傷つける恐 れがあるため、テーブルからシートを入れる時や持ち上げる時は注意して

PVCなど、素材によっては印刷直後にわずかにうねりが生じる場合があり ます。サンプルを平面に5分間~10分間置き、元の形状に戻るようにし てください。10分経過しても、変形が直らない場合は、硬化温度を低く して、印刷し直してみてください。

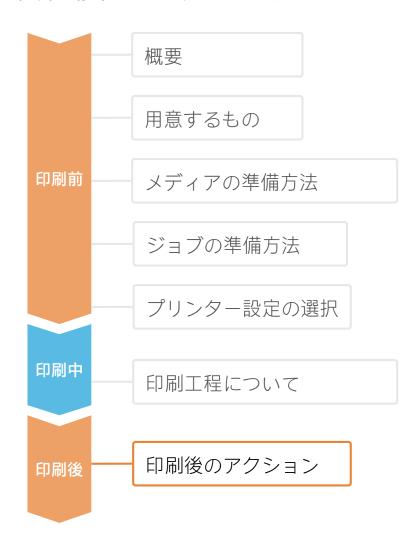
▶ 注記:インクの付着は24時間経過すると改善する場合がありますが、 印刷直後にサンプルの処理や加工、仕上げを行うことできません。



化学常品または長期使用に対する耐久性を 高めるため、プリントにフィルムラミネート加工または液体ラミネート加工を施します。 注記:印刷直後にラミネート加 工をすることができます。乾燥待ち の必要はありません。

注記:ラミネート面を外側に向 けて、積層ロールを保管することを お勧めします。

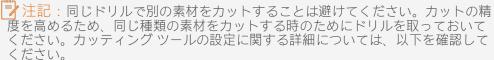
印刷後のアクション





3 a.ルーターによるカット

最終寸法になるようにサンプルをカットします(事前に行っていない場合)。



- ZUND カッター: https://hplatexknowledgecenter.com/blog/zund-cutting-systemsyour-choice-cutting-rigid-substrates
- SUMMA カッター: https://hplatexknowledgecenter.com/blog/hp-latex-r-seriesprinters-cutting-rigid-substrates-summa



3 b.レーザーによるカット

Latex で印刷されたアクリル系のサンプルは、レーザー カッターを使用して カットできます。このプロセスによって、滑らかな切断面を得ることができ

注記:印刷されたサンプルをカットする時に、『影付き』画像がエッジ 付近に出現する場合があります。レーザーによるカットの場合には、印刷さ れない輪郭を残しておくことをお勧めします。



4.カットエッジの仕上げ

レーザーを用いてサンプルをカットしていない場合は、エッジの仕上げ方法 は複数あります。仕上げ方法として、紙やすりによる研磨、きさげ仕上げ、 火災研磨が可能です。

アクリルボードを研磨する場合は、印刷領域を除いた部分を研磨するように してください。

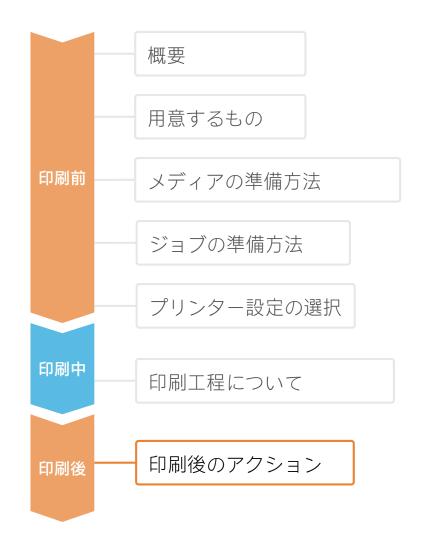


5.メディアの伸縮

多くの素材(アクリル系、PVC、厚紙など)は、温度変化に応じて伸縮し ます。アクリルパネルを設置する場合は、メディアの膨張を考えて、ボードのひび割れ発生を回避することが非常に重要になります。大きめ の穴を開けることで、アクリルボードの拡張を緩和できます。

例: アクリルボードは約0.075 mm/m/K 膨張します。

印刷後のアクション





6.取り付けと設置

脚部、フック、その他の付属品を適切な位置に設置して、最終的な場所に配置 します。

パネルを安定させてください。

スクリーンは、必要に応じて何回でも簡単に、交換、取り外し、保管、運搬を 行うことができます。



7.クリーニングとメンテナンス

定期的なクリーニングへの耐性、または水や化学^滋品への耐性がスクリーンに必要な場合、以下を行うことをお勧めします。

1. フィルム ラミネート加工または液体ラミネート加工のいずれかにより、プリ ントを保護します。

2. プリントが保護されていない場合、乾いた柔らかい布できれいにします。十 分なクリーニングが必要な場合は、水と清潔な柔らかい布のみを使い、クリー ニングを行うことをお勧めします。

アクリル系には、アルコールやベンジン、ブラシの使用はできません。



詳細については、<u>www.hplatexknowledgecenter.com</u> をご覧ください。

パートナーシップ:









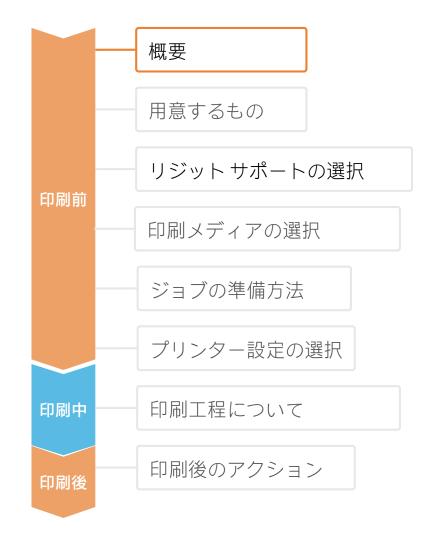




ここでは、塩ビ粘着素材のセパレーションパネ ルの制作方法について説明します。



概要



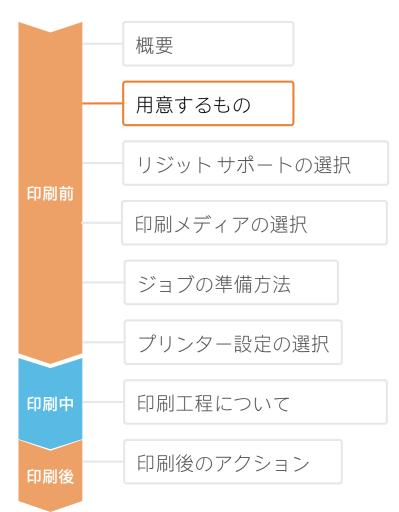


世界中では、ゆるやかに外出制限が解かれ始めるにつれ、公共の場で人との距離をどのように保っていくかが見直されています。小売店のような組織、レストラン、オフィス ビルなどでは、従業員やお客様の安全を守るため、室内装飾のデザイン変更を早急に行う必要に迫られています。セパレーションパネルは、人と人との安全な距離を保つのに役立つ上、そばにいる人がくしゃみや咳、息を吐いた場合に、空気中に飛散した病原体から身を守ってくれる役目を果たしてくれます。これらのセパレーションパネルは制作に2~3ヶ月以上掛かるため、パネルが視覚的にも楽しめる上、耐久性のあるものになることを経営者の多くが考えているところです。

CUIDARTE

セパレーションパネルはいろいろな素材から作られますが、一般的には厚紙、リジット素材(アクリル性ポリカーボネートなど)が用いられます。ロールツーロールプリンターをお持ちの場合、塩ビ粘着素材のセパレーションパネルを装飾することができるため、装飾性も機能性も兼ね備えたものができます。

用意するもの













リジットサポートの選択





最も一般的なタイプには、以下のものが あります。

- アクリル
- ポリカーボネート
- ポリスチレン
- 発泡ボード
- 厚紙

1.素材の選択

透明なスクリーンの場合、最も一般的な素材は、アクリル ボードおよび ポリカーボネート (衝撃抵抗が必要な場合に適している)、またはポリ スチレン (経済的なソリューションのため)です。

不透明なスクリーンの場合、PVC発泡ボードが最も一般的な素材ですが、 経済的で地球に優しい素材は厚紙です。

HP Latex Rシリーズのプリンターを使用すれば、これらの素材に直接印刷 することもできます。

このアプリケーションに関する詳細については、以下のマニュアルをご 覧ください。※英語サイトですが。HPIDでサインインするとサイト内の Google翻訳ボタンをご利用いただけます。

https://hplatexknowledgecenter.com/applications/how-print-separationpanels-rigid-materials

注記:カット方法

アクリルボードは、レーザー カッターでカットできますが、 アクリルボード以外の素材については、レーザー カッターでは カットできません。カット工程に関する詳細については、「印 刷後のアクション」をご覧ください。

🛂 注記:カッター メーカーによっては、オンライン ツールで すぐに使えるテンプレートを用意している止業もあります (Zund Design Centerなど)。

印刷メディアの選択





1.メディア タイプの選択

- - -- 粘着モノマー ビニール
 - クリア PP 静的粘着フィルム
 - クリア PET 静的粘着フィルム

注意点: 耐久性

長期間にわたって貼り付ける場合や、プリントのクリーニングまたは消ぎを 定期的に行う場合:

- 化学^茶品(アルコール、エタノール、およびウィンデックスなど)に 対する耐潮品性にすぐれるように、プリントにラミネート加工を施し てください。
- アプリケーションが屋外の場合、UV耐性にすぐれるように、ポリマー ビニールの使用をお勧めします。
- 素材の種類(モノマー、ポリマーなど)と技能(ホットラミネートま たはコールドラミネート) に最も適したフィルムラミネート加工を行 います。

注意点: 不透明度

セパレーションパネルの輪郭上にグラフィックスを追加するためには、白色 の素材を選ぶことが最も効果的です。

透明なアプリケーションの場合、PP系またはPET系の素材を使用するという 選択肢もあります。この場合、ホワイトインクを使用することで別の視覚的 効果が生じます (IP Latex Rシリーズのみ)。

注意点: 粘着剤

アプリケーションの耐久性を高めるため、永久粘着剤付きの素材を使用しま

グラフィックスを同じパネル内に貼り替えるといった一時的なアプリケー ションの場合、Static Clingのメディアを使用するか、位置調節可能な粘着剤が 付いた素材 (Neschen Easy Dot) の使用を検討してください。

ジョブの準備方法







1.画像の作成

標準デザインツール (フォトショップ、イラストレーターなど)を使用して、グラフィックを作成します。

画像サイズを画面構造の特性と寸法に必ず適合するよ うにしてください。

画像にホワイトインクを使用する場合は、対応する画 像レイヤーを定義します。

ホワイトインクを使用した印刷に関する詳細について は、以下のマニュアルをご覧ください。 ※英語サイトですが。HPIDでサインインするとサイト 内のGoogle翻訳ボタンをご利用いただけます。

https://hplatexknowledgecenter.com/applications/howprint-white-ink-hp-latex-r-series-printer

2.カットマークの追加(オプショ

オートカッターを使用する場合、デザイン ツールまたはRIPを使用して加工データを作成します。

画面構造によって特殊な形状または穿孔が必要になるか どうかを確認します。

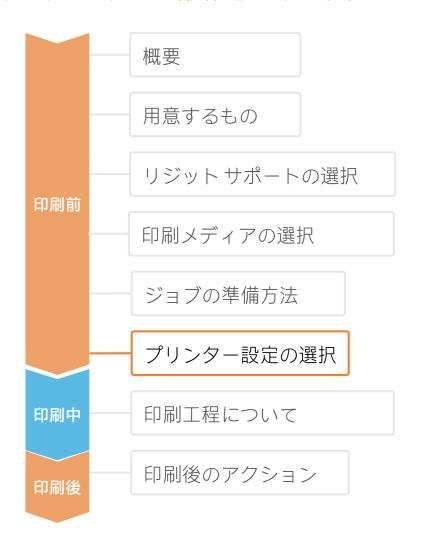
▶ 注記:カットに関する詳細については、以下のマ ニュアルをご覧ください。

※英語サイトですが。HPIDでサインインするとサイト 内のGoogle翻訳ボタンをご利用いただけます。

Good practices to ensure correct cutting accuracy with HP Latex Print and Cut Solution

https://hplatexknowledgecenter.com/applications/goodpractices-ensure-correct-cutting-accuracy-hp-latex-printand-cut-solution

プリンター設定の選択



ジョブを選択し、メディアの用意ができたら、印刷の準備完了です。

最初に、正しい印刷設定値を選択する必要があります。これらの設定値はメディアプロファイル プリセット内にあり ます。



使用するメディアをベー スにして、 メディア プロファイルを プリセットする





メディアプロファイル プリセット

多くのメディアについて、機種が異なるLatexプリンターを使用し、 HPの 社内テストが実施されています。プリセットは個々のメディアおよびプリ ンター向けに作成されている場合があります。

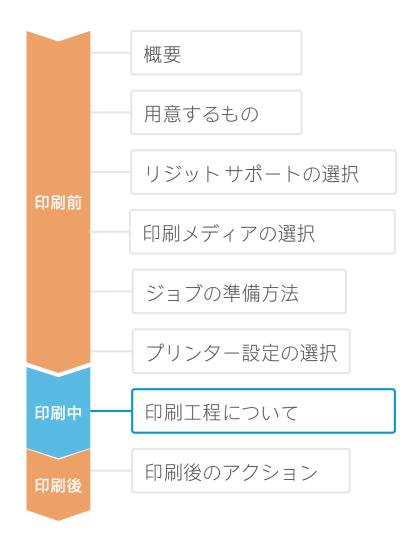
HP メディア ロケーターからダウンロードできます。

https://www.printos.com/ml/#/homeMediaLocator

プリンターとメディアの種類をフィルタリングすることによって、正しい プロファイルを探します。

印刷の必要があるメディアに、 有効なメディアプロファイル プリセットが ある場合は、ダウンロードしてインストールを行い、ご使用のプリンター およびRIPで使用することをお勧めします。使用しているメディアに、有効 なメディアプロファイル プリセットがない場合は、メディア(汎用塩ビ粘 着)の種類に対応する「汎用」プリセットを使用するという選択肢もあり ます。

印刷工程について



- 対応するプリセットを選択後、 アートワークを取り込みます。 プリンターキュー (L1500、L3X00、 Rシリーズ) に出力を送信するか、 直接プリンター (L1X0、L2X0、 L3X0、L5x0) に送信します。
- 以前に選択したプリセットを使用し て、プリンターにメディアを読み込 みます。
- 3. プリンターの読み込みプロセスに従 います。
- 必要に応じて、巻き取りリール (L1X0、L2X0、L3X0、L5x0)を使用 します。大容量のジョブの場合に、 巻き取りリールの使用をお勧めしま す。
- 5. 取り込んたンコノでをいる。 プリンターキューにドラッグし ます (L1500、L3X00、Rシリー ズ)。





サポートの準備方法





1.扱い方

注意してサンプルをお持ちください。

事故による負傷を防止するだけでな く、表面に指紋が残らないようにす るためにも、手袋の着用をお勧めし ます。



2.カット

デバイス (テーブルソー、 カッティング テーブルなど) を使用して、サンプルを必要 なサイズにカットします。



注記:同じドリルで別の素材をカット を高めるため、同じ種類の素材をカットす る時のために、ドリルを取っておいてくだ さい。カッティングツールおよび設定に関 する詳細については、以下を確認してくだ さい。

• ZUND カッター: https://hplatexknowledgecenter.com/blog /zund-cutting-systems-your-choicecutting-rigid-substrates

• SUMMA カッター: https://hplatexknowledgecenter.com/blog /hp-latex-r-series-printers-cutting-rigidsubstrates-summa

オンライン ツールですぐに使えるテンプ レートを用意している止業もあります (Zund Design Centerなど)。



3.カットエッジの仕上げ

レーザーを用いてサンプルをカット していない場合には、エッジの仕上 げ方法は複数あります。仕上げ方法 として、紙やすりによる研磨、きさ げ仕上げ、火災研磨が可能です。



4.ライナーの取り外し

メディアに保護フィルムがある 場合、片側から剥がします。も う一方は、仕上げの段階または 完成したグラフィックを貼り付 けるまで、保護フィルムを付け たままにしておきます。

手袋を着用していない手で、プ リント面を触らないでください。 印刷後に指紋が目立つ場合があ ります。



5.クリーニング

保護フィルムを剥がした後は、ちりや ほこりがプリント面に付着しやすくな る場合があります。表面を静電気防止 クロスで拭くことで、ちりを除土して ください。

レント:静電気防止クロスを利用でき ない場合、リントフリーの布とアルコール系 クリーナーを使用してプリント面を拭き、印 刷前に乾燥させてください。

プリントの仕上げと貼り付け





1.プリントの保護(オプション)

化学商品または長期用途に対する耐久性を高 めるため、プリントにフィルム ラミネート加 工を施します。

注記: 印刷直後にラミネート加工をすることが できます。乾燥待ちの必要はありません。

注記:ラミネート面を外側に向けて、積層ロー ルを保管することをお勧めします。



3.ボードへのビニール貼り付け

ライナーをゆっくり剥がし、ビニールを目的の 位置に貼り付けます。

スキージー (ワイパー) で気泡を除土してくだ さい。



手動式ツールまたはオートカッターを使用して、 プリントを希望するサイズと形状になるように します。

注記:カットに関する詳細については、以下の マニュアルをご覧ください。

※英語サイトですが。HPIDでサインインするとサ イト内のGoogle翻訳ボタンをご利用いただけます。

Good practices to ensure correct cutting accuracy with HP Latex Print and Cut Solution,

https://hplatexknowledgecenter.com/applications/good -practices-ensure-correct-cutting-accuracy-hp-latex-



4.パネルの取り付けと設置

脚部、フック、その他の付属品を適切な位置に設 置して、最終的な場所に配置します。

パネルを安定させてください。

スクリーンは、必要に応じて何回でも簡単に、交 換、取り外し、保管、運搬を行うことができます。



詳細については、www.hplatexknowledgecenter.com をご覧ください。

パートナーシップ:













